

## 第10回団体交流会グループワーク(No2テーブル)記録

平成28年9月23日 文責 木下

No	項目	内容
1.	開催日時・場所 G・W の時間	平成28年9月22日(金) 14時～16時 市民活動支援センター2階講堂 15時40分～16時
2.	参加者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・武市/KIZUNA倶楽部 ・内藤/さやま地域活動栄養士会 ・八尾/あったかファミリー</li> <li>・スクール ・平野/くみのき一番館「紙芝居」 ・上地/ぽっぽえん</li> <li>・山本/ぽっぽえん ・浅見/ぽっぽえん ・中村/レインボークラブ</li> <li>・向井/天野街道と陶器山の自然を守る会 ・高橋/まち研、さやか観光会</li> <li>・花田/狭山中円卓会議</li> <li>・岡本、木下/市民活動支援センター</li> </ul>
3.	講話に対する 感想・意見	南第二幼稚園のこども園への改編内容への疑問点などが出たが、特に意見はあまりなかった。
4.	意見交換	
4-1	1)子育て支援 ぽっぽ園関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪狭山市には幼保以外に子育て支援センター（ぽっぽえん）という素晴らしい施設があるのだからもっとPRしたらいい。</li> <li>・こどもの健全育成のため市立こども園、保育所と幼稚園の支援体制をもっとする必要がある。</li> <li>・新幼保・こども園とぽっぽえんの違いが分からないので勉強したい。</li> <li>・子育て支援に関して地域住民、若い世代と高齢者のコミュニティの連携が必</li> <li>・市外の幼稚園に通う子供が多い。ぽっぽえんや市役所のPRの工夫が足らな</li> <li>・狭山市は中学校に給食があるのが魅力だった。今は小学校にも普及して、</li> <li>・よその市でもやっているが、幼稚園にも給食があれば大きな魅力になる。</li> <li>・幼稚園、保育園、こどもえんは通園範囲が広いので親は大変。</li> <li>・市内で何とかできないか。</li> <li>・市内への通園に回帰させるためにもバスが必要。</li> <li>・市内通園に回帰させるための有効な策をもっと考えよう。</li> </ul>
4-2	住み続けたいまち 狭山にするため	<ul style="list-style-type: none"> <li>・狭山の魅力発見 給食がよい、三歳児保育が始まる。</li> <li>・狭山は近辺では一番空気がいいところ。ラブホテルやパチンコ店がなく</li> <li>・子育てに適している。</li> <li>・狭山には狭山池、天野街道、陶器山など魅力のあるところが沢山</li> <li>・ある。 もっとPRが必要。</li> <li>・若人を呼び寄せるだけでなく、地域を担う若人を育成する施策を。</li> <li>・スーパーでの買い物のついでに気軽に相談できる場所があればいい。</li> </ul>

以上

いろいろなご意見をいただきありがとうございました。

